

なるほど! ワクワクながの

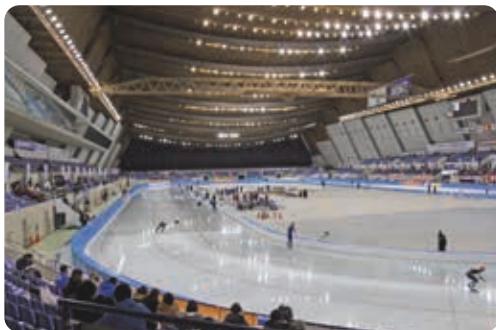
ながのご縁を 縁 信都・長野市

私たちがくらす「長野市」のこと再発見する「なるほど!ワクワクながの」の第5号です。

長野市で、冬のスポーツの大会がたくさん開かれているのはなぜか

長野市では、1998年(平成10年)に、オリンピック冬季競技大会が開かれ、世界中から、たくさんの選手や役員が、長野市を訪れました。

みんながスケート教室などで利用する「エムウェーブ」では、スピードスケート競技しきずひろやすが行われ、清水宏保選手が金メダルをとるなど、日本人選手が大活躍しました。

**Q1**

1998年の長野オリンピックは、当時、参加した国や地団子の数が、それまでで最も多い大会になりました。どのくらいの国と地団子が参加したでしょう。

- ① 62 ② 72 ③ 82**

答えはうらの下に



1998年には、オリンピックのしせつを利用して、パラリンピック冬季競技大会が開かれました。最近も、スピードスケートワールドカップぎんれい(昨年の11月)や、ながの銀嶺国体(国民体育大会1月)、全国中学校スケート大会(2月)といった大きな大会が、長野で開かれています。オリンピックのしせつは今も子どもから大人まで、また、長野市だけでなく、世界や全国のみなさんに利用されています。

**Q2**

つきの3つのしせつの中で、長野オリンピックの「フィギュアスケート会場」として利用されたのはどこでしょう。

- ① ホワイトリング**



- ② スパイラル**



- ③ ビッグハット**



答えはうらの下に

みんなの学校は、どの国と交流をしたのかな？「一校一国運動」

長野オリンピックでは、1つの学校が参加した国や地域のみなさんと交流活動を行う「一校一国運動」が行われました。各学校では、交流する国の学習や選手の応えん、学校などでの交流会などを行いました。長野市を訪れた選手たちは、長野市の子どもたちの温かな応えんやおもてなしの心に、とても感動したそうです。

長野から始まったこの運動は世界に広がり、その後、オリンピックが開かれる都市では、同じような交流や学習が行われています。

オリンピックが終わった今も、交流を行っている小学校があります。三本柳小学校はボスニア・ヘルツェゴビナと、安茂里小学校ではフランスと交流し、徳間小学校ではルーマニアへの支援をしています。



オリンピック当時の交流の様子

ボスニア・ヘルツェゴビナ



昨年の7月に、大使が学校を訪問

ルーマニア



委員会を中心に資源回収を行い、エイズ被害者を支援

フランス



水泳の合宿に訪れたフランス選手が学校を訪問

Q3

上に紹介した3つの国は、世界のどの地いきにあるでしょう。

- ①アメリカ州 ②ヨーロッパ州 ③アジア州

答えは下に



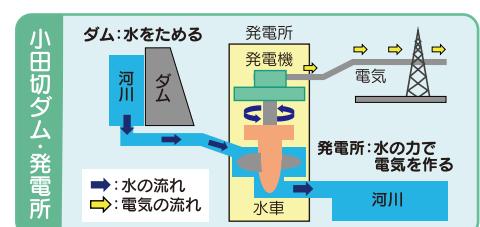
ここにもあった全国1位～水力発電所～

長野市小田切地区に、小田切ダムがあります。このダムは水力で発電をしています。水力発電所は、山から流れてくる川の水を利用するため、山の多い長野県にある水力発電所の数は、全国1位です。

長野市の犀川や裾花川には、水力発電所がいくつつくられています。小田切発電所ではダムに水をため、その水を勢いよく流して水車を回し、その力で発電します。そのため、石油などの化石燃料がいらない方法で発電を行うことができます。

	都道府県	水力発電の数
1位	長野県	141
2位	富山県	125
3位	岐阜県	100

<http://www.suiryoku.com>
(水力ドットコムから引用)



Q4

長野市には、水力発電所はいくつあるでしょうか。

- ①3つ ②5つ ③7つ

答えは下に



次回の「なるほどワクワクながの」は3月上旬発行予定です。

答え Q1② Q2① Q3② Q4③